



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月11日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
 コード番号 3418 URL <https://www.balnibarbi.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 裕久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 岡本 弘嗣 TEL 06-4390-6544
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	6,244	△19.4	△781	—	△499	—	686	—
2020年7月期第3四半期	7,744	△6.8	△397	—	△372	—	△298	—

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 687百万円 (—%) 2020年7月期第3四半期 △297百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	80.00	77.93
2020年7月期第3四半期	△34.72	—

(注) 2020年7月期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第3四半期	8,419	2,550	28.9	284.39
2020年7月期	9,136	1,992	20.5	217.76

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 2,432百万円 2020年7月期 1,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	2.50	—	5.00	7.50
2021年7月期	—	2.50	—	—	—
2021年7月期（予想）	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	8.1	0	—	0	—	1,000	—	116.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期3Q	8,719,080株	2020年7月期	8,703,480株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	166,738株	2020年7月期	90,538株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期3Q	8,583,615株	2020年7月期3Q	8,606,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により経済活動が著しく制約を受ける状況等により経済情勢は急激に悪化いたしました。また、緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開に伴って徐々に回復傾向にあったものの、再び2021年1月及び4月に緊急事態宣言が発出されたことなどにより、未だ感染終息の見通しは立っておらず今後の経済情勢に影響を及ぼすことが懸念され依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた休業要請や外出の自粛、営業時間の短縮要請などの影響により、外食を控える傾向による大幅な来客数の落ち込みなど引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループでは、引き続きエリア活性化プロジェクトへの参画など地域創生ネットワークの形成を推進するとともに、店舗展開及び多様な新規出店プロジェクトの企画開発を行う一方で、運営体制の適正化及び経営マネジメント層の育成を積極的に行うための人材組織戦略への取り組みを行っております。また、店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案、コロナ禍におけるソーシャルディスタンスを保った安心安全なテラスの活用や、2020年9月に中食需要の高まりから店舗外商品の販売強化を目的にECサイト「CANDLE TABLE」をオープン、2020年12月に新型コロナウイルス感染症の拡大などによる事業運営に対する長期的な影響の可能性を鑑み、運転資金として機動的かつ安定的な資金調達手段を確保する目的でシンジケートローン契約（組成金額：1,850,000千円）を締結し、顧客満足度の向上と収益性及び財政状態を安定させる取り組みを実施し、2021年4月に淡路島北西エリアにおいて、観光開発の観点を超えて、人が訪れ、時間を過ごし、その地域に愛着を持ち、移り住み、地域とのコミュニケーションの中で食を通じて街を育てていくという地方創生プロジェクトとして「Frogs FARM」を推進しております。

当第3四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の店舗の増減といたしましては、バッドロケーション戦略において2店舗をオープン、不動産デベロッパー戦略において1店舗をオープン、2店舗をクローズ、行政・公共機関戦略において1店舗をオープン、大学・その他戦略において期間限定で1店舗をオープン、1店舗を売却、1店舗をクローズし、当第3四半期連結会計期間末における当社グループの運営する店舗数は92店舗となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,244,933千円（前年同四半期比19.4%減）、営業損失は781,070千円（前年同四半期は営業損失397,833千円）、経常損失499,881千円（前年同四半期は経常損失372,098千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益686,676千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失298,761千円）となりました。

出店戦略別及び事業別の業績は以下のとおりであります。

① バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクトなどへ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましては土地、建物、借地権取得など不動産保有を推進し、店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。2020年9月には茨城県土浦市において、JR土浦駅直結の「プレイアトレ土浦」において「タルトスピーカー」をオープン、2021年4月には兵庫県淡路市において「ピクニックガーデン」をオープンし、ピクニックガーデン内において「ピクニック&BBQガーデン」、「GOOD MORNING BURGER」、「Lemonade SHIMA-LEMON」を展開しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるバッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区24店舗、関西地区9店舗、その他地域2店舗の計35店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,060,595千円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

② 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減など好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで当社の個性を活かした店舗開発を推進しております。2020年8月には東京都渋谷区の「MIYASHITA PARK」において「ニューライト」をオープン、2020年11月には東京都渋谷区の「グッドモーニングカフェ&グリル キュウリ」をクローズ、2021年1月には東京都千代田区の「スキュー」をクローズしております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区22店舗、関西

地区13店舗、その他地域2店舗の計37店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,711,593千円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

③ 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催などを行い、地域創生ネットワークの形成を推進しております。2021年3月には大阪府高槻市において「レストラン ファーマーズクラブ」をオープンしております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区11店舗、その他地域1店舗の計12店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,005,747千円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

④ 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。2020年8月には京都市左京区の「南禅寺参道 菊水」を譲渡、2020年9月には“食卓に彩りを添える特別な一品”をコンセプトに、食材選びから調理工程までこだわったシェフの自慢の一皿をお届けする通販サイト「CANDLE TABLE」をオープン、2020年12月には新潟県魚沼郡において期間限定店舗である「ぶなキッチン」をオープン、2021年1月には京都市東山区の「スロージェットコーヒー 高台寺」をクローズしております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における大学・その他戦略の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区4店舗、その他地域3店舗の計8店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は328,642千円（前年同四半期比39.0%減）となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第3四半期連結累計期間における売上高は138,353千円（前年同四半期比20.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

現金及び預金の増加306,827千円、販売用不動産の増加676,490千円、建物及び構築物の減少454,521千円、土地の減少636,057千円、建設仮勘定の減少196,588千円及び繰延税金資産の減少117,922千円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ717,177千円減少し8,419,090千円となりました。

(負債)

1年内返済予定の長期借入金の増加102,173千円、未払法人税等の増加237,963千円、未払消費税等の増加82,531千円、前受金の減少251,776千円及び長期借入金の減少1,355,598千円等により、負債は前連結会計年度末に比べ1,274,742千円減少し5,868,628千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、557,565千円増加し、2,550,462千円となりました。これは主に利益剰余金の増加622,235千円及び自己株式の取得79,876千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年9月14日の「2020年7月期 決算短信」で公表いたしました2021年7月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,776,356	2,083,184
売掛金	321,405	248,842
商品及び製品	143,589	149,489
原材料及び貯蔵品	25,092	30,889
販売用不動産	—	676,490
未収還付法人税等	98,451	—
その他	174,254	208,603
流動資産合計	2,539,149	3,397,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,607,350	2,152,829
機械装置及び運搬具(純額)	15,803	16,270
工具、器具及び備品(純額)	417,577	411,394
土地	1,494,675	858,618
リース資産(純額)	241,735	192,059
建設仮勘定	238,294	41,706
有形固定資産合計	5,015,437	3,672,878
無形固定資産		
のれん	63,651	—
借地権	380,963	368,112
その他	18,227	13,895
無形固定資産合計	462,842	382,007
投資その他の資産		
投資有価証券	2,550	3,450
差入保証金	621,096	615,770
繰延税金資産	419,002	301,080
その他	76,189	46,403
投資その他の資産合計	1,118,838	966,704
固定資産合計	6,597,118	5,021,590
資産合計	9,136,267	8,419,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,788	187,635
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	601,062	703,235
リース債務	115,345	92,755
未払金	474,886	445,224
未払法人税等	4,479	242,442
未払消費税等	64,229	146,760
前受金	261,341	9,565
賞与引当金	2,960	11,843
その他	137,780	155,085
流動負債合計	2,691,875	2,794,549
固定負債		
長期借入金	3,909,736	2,554,137
リース債務	181,192	132,184
資産除去債務	286,399	289,744
繰延税金負債	552	413
その他	73,614	97,598
固定負債合計	4,451,495	3,074,078
負債合計	7,143,370	5,868,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,770	424,915
資本剰余金	761,033	773,178
利益剰余金	784,378	1,406,614
自己株式	△92,644	△172,520
株主資本合計	1,875,537	2,432,187
非支配株主持分	117,358	118,274
純資産合計	1,992,896	2,550,462
負債純資産合計	9,136,267	8,419,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
売上高	7,744,232	6,244,933
売上原価	2,081,850	1,729,897
売上総利益	5,662,382	4,515,036
販売費及び一般管理費	6,060,215	5,296,106
営業損失(△)	△397,833	△781,070
営業外収益		
受取利息	35	184
受取保険金	6,400	4,439
消費税差額	30,610	16,460
助成金収入	—	293,138
違約金収入	13,543	8,665
その他	2,716	9,092
営業外収益合計	53,306	331,980
営業外費用		
支払利息	12,868	13,348
シンジケートローン手数料	9,673	29,259
その他	5,029	8,183
営業外費用合計	27,572	50,791
経常損失(△)	△372,098	△499,881
特別利益		
固定資産売却益	—	1,655,282
保険解約益	—	4,076
特別利益合計	—	1,659,358
特別損失		
固定資産除却損	452	585
店舗閉鎖損失	7,426	44,477
関係会社株式売却損	—	82,479
その他	—	68
特別損失合計	7,878	127,610
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△379,977	1,031,866
法人税、住民税及び事業税	7,602	226,490
法人税等調整額	△90,068	117,784
法人税等合計	△82,465	344,274
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,512	687,592
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,248	915
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△298,761	686,676

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	△297,512	687,592
四半期包括利益	△297,512	687,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298,761	686,676
非支配株主に係る四半期包括利益	1,248	915

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式76,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が79,876千円増加し、第3四半期連結会計期間末において自己株式が172,520千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、飲食店運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。